



## やさしい日本語ニュースにおける行為要求表現

楊, 吟

---

**(Citation)**

國文論叢, 58:98-110

**(Issue Date)**

2021-11

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCD0I)**

<https://doi.org/10.24546/0100477475>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100477475>



# やさしい日本語ニュースにおける行為要求表現

楊 吟

## 1. はじめに

国や地方公共団体が、お知らせなどの情報を作るときに、やさしい日本語を使って日本に住む外国人にもしっかりと情報が届くようになることを目指して、2020年8月、出入国在留管理庁と文化庁は「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を公表した。そして、やさしい日本語は、東京オリンピック・パラリンピック準備局の多言語対応協議会ポータルサイトで、多言語対応の一つの手段としても紹介されている。やさしい日本語は、もともと阪神・淡路大震災のときに、外国人が適切な行動をとれるように考え出されたものであるが、現在は、震災時だけでなく、平時の情報提供の手段としても活用しはじめた。平時の情報提供のためのやさしい日本語はどのように使うのか、日本語教育に何か示唆はないのか、というところは筆者の関心である。

やさしい日本語についての研究は大きく分けて4つの方向性がある。災害時の情報提供（代表者：佐藤和之など）、平時の情報提供（代表者：庵功雄など）、観光のツール（代表者：吉開章など）、報道のツール（代表者：田中英輝など）といった視点が見られる。この意味で、出入国在留管理庁と文化庁によるガイドラインは、平時の情報提供のために、「一方通行の情報発信になってしまう書き言葉に焦点をあてて」作られたものである。しかし、やさしい日本語の基本的な作り方を、書き換え例を提示しながら説明してあるが、用例が少ないため、やさしい日本語の使用実態を把握するのにやはり不十分であると思われる。

また、平時の情報提供の中で、何が多いかという点、指示や忠告や依頼など外国人に行動してもらおうためのものが多いのではないと思われる。しかし、これまでの行為要求表現の研究は会話文を中心に進められており、書き言葉に関しては十分に研究されていないように思われる。

そこで、NHKの「NEWS WEB EASY」というニュースサイトの記事が研究の資料として利用できると思った。ニュース記事は書き言葉であるうえ、平時の情報提供に通じるところも大きいので、参考になると思われる。

以下、本稿は「NEWS WEB EASY」の記事を資料として、行為要求表現に注目して、

やさしい日本語の使用実態を調べることを目標とする。第2節では先行研究と本稿の立場について述べる。第3節では調査方法と調査結果を示す。第4節ではやさしい日本語のニュース記事で使われた行為要求表現の形式とその使用の理由を考察する。第5節では、日本語教育にとって示唆になることを述べることにする。

## 2. 先行研究と本稿の立場

やさしい日本語に関する研究は、基本的な考え方や基本的な書き換えのルールについて論じるものが多く、具体的な文法・語彙の使用状況について考察したものがまだあまり見られない。やさしい日本語の活用を促進するうえで、今後より具体的な作業方法を示す必要があるだろう。行為要求表現の使用実態を考察する本研究が参考になれば幸いである。

国や地方公共団体がやさしい日本語を使った事例はこれまでいろいろあるが、資料の量と質から考えれば、「NEWS WEB EASY」がもっとも研究対象に適すると考える。「NEWS WEB EASY」は小学生・中学生や外国人のために、分かりやすい言葉でニュースを伝える、2012年4月から開設したウェブサイトである。平日の毎日3～4本の頻度で更新される。やさしい日本語ニュースの下に、同じ内容の普通のニュースのリンクも貼ってある。田中ほか（2018）によると、記事の制作は記者と日本語教師の共同作業で実施している。平易化レベルの保証と効率の向上を実現するために、独自に開発した「書き換えエディタ」と「読解補助情報エディタ」を利用している。「NEWS WEB EASY」のやさしい日本語は、内容が多岐にわたっており、かつ、編集者にかかわらず平易化レベルが均一に保たれている。こういう点が本研究にとって好都合なわけである。以上の理由から、本稿は、「NEWS WEB EASY」における行為要求表現を考察することにした。

次に、やさしい日本語の基本的な文法のルールについて確認しておこう。出入国在留管理庁と文化庁によるガイドラインでは、やさしい日本語の作り方が3ステップに分けて説明されている。

- ステップ1 「日本人にわかりやすい文章」、
- ステップ2 「外国人にもわかりやすい文章」、
- ステップ3 「わかりやすさを確認」

となっている。ステップ2のポイントの中で、次のような文法に関するルールが提示されている。

- (1) • 二重否定を使わない

(例文：在留カード以外は必要ありません。→在留カードを持ってきてください。)

- 受身形や使役表現をできる限り使わない

(例文：住民税は、市町村で課税されます。→住民税は、市町村へお金を払います。)

- 文末は「です」「ます」で統一する

(例文：お越しいただく必要はありません。→来なくてもいいです。)

田中ほか(2018)では、「NEWS WEB EASY」の書き換え原則を語彙、文法、内容の削除と追加の3項目で説明し、文法に関するルールは次のとおりである。

- (2) ・文の長さ(1文をできるだけ50文字以下に書き換える)
- ・受動態(受動態をできるだけ能動態に書き換える)
- ・慣用表現(ニュース独特の慣用表現を普通の表現に書き換える)

このように、基本的なルールは書いてあるものの、外国人向けの情報提供に欠かせない行為要求の表現に関連する細かいルールは特にないのである。

本稿における行為要求は、高梨(2011)の定義に従い、「相手が行為を実現すること(または実現しないこと)を求めたり、容認したりする機能」であると捉える。下位分類は、高梨(2018)の分類に従い、実現と非実現の対立と、要求と容認の対立によって、大きく「実現要求類、実現容認類、非実現要求類、非実現容認類」の4タイプに分ける。「指示、依頼、勧め、勧誘」は「要求類」に、「許可」は「容認類」に分類される。高梨(2018)は「1)本来的に行為要求の機能をもっているもの、2)本来は別の機能をもっていたが、行為要求の機能に移行し、その機能が定着したと考えられるもの」をあわせて、(普通の日本語の)行為要求の形式と分類を次の表1のようにまとめている。

表1：行為要求の形式と分類(高梨2018)

A1) 実現することを求める類(実現要求類) しろ、しなさい、てくれ、てください、お~ください、して、しよう、しまし う、する、こと、ことだ、のだ、てほしい、てもらいたい、といい、ばいい、 たらいい、ほうがいい、べきだ、べし、なくてはいけない、なければなら ない、しかない、しょうか、しないか(しない?)、たら(どう)?、ては(どう)?、 てくれないか、てもらえないか
A2) 実現することを容認する類(実現容認類) て(も)いい、て(も)かまわない、ても大丈夫、ても平気
B1) 実現しないことを求める類(非実現要求類) するな、ないでくれ、ないでください、しないで、てはいけない、てはだめだ
B2) 実現しないことを容認する類(非実現容認類) なくて(も)いい、なくて(も)かまわない、なくても大丈夫、なくても平気、こ とはない、必要はない

これまでの行為要求表現の研究は会話文を中心に進められている。表1も会話文の形式が中心となっている。書き言葉に関しては、まだ研究の余地があるように思われる。本稿は、やさしい日本語のニュース記事を中心に考察するつもりなので、普通の日本語のニュース記事については参考までに用例を挙げるが、詳しく論じないことにする。

### 3. 調査方法と調査結果

#### 3.1. 調査方法

本稿で使用する資料は、NHKのウェブサイト「NEWS WEB EASY」による2か月分、計155本の記事である。日付が2020年10月1日から10月30日まで、2021年1月1日から1月29日までのものである。

表1にまとめてある普通の日本語の行為要求の形式を参考にしながら、「NEWS WEB EASY」の記事から、行為要求表現を含む文を、目視により抽出する。「実現要求類、非実現要求類、実現容認類、非実現容認類」に分けて整理する。文末表現だけでなく、間接引用節や「」で括った直接引用文や記事のタイトルに現れるものも用例として数える<sup>1)</sup>。形式が同じでも、意味と文脈を確認し、行為要求でないもの、すなわち「指示、依頼、勧め、勧誘、許可」でないものは用例から排除する。

ここで留意したいのは、ニュース記事において、行為要求の対象者は読み手の場合もあれば、記事の中の話題人物の場合もある。本研究はその両方を含めて考察することにした。例えば、次の用例(3)は読み手に対して天候への注意を呼びかけている。(4)はすでに起こった出来事で、神戸市が震災記念イベントに来る予定の人に対して呼びかけたことを報道している。

(3) 雪を片付けるときは十分に気をつけて、雪や風が強いときは無理をしないでください。  
(2021年1月6日付)

(4) 神戸市は、大勢の人で公園が混まないように、家などで祈るように言いました。  
(2021年1月18日付)

従来の行為要求の研究なら、対象者は一般的に聞き手・読み手と考えられるが、本稿は、この意味で、対象者をより広く捉えているのである。これはニュース記事ならではの特徴ゆえであろう。

#### 3.2. 調査結果

155本のやさしい日本語のニュース記事から抽出された行為要求の形式を整理した結果は次の表2に示す<sup>2)</sup>。

表2：やさしい日本語のニュース記事における行為要求表現の使用状況

分類	形式と使用数	小計	総計
実現要求類	しよう 3	3	95
	してください 13、して6、…ようにしてください 1	20	
	…ように言っている／言った7、…ようにお願いした4、…をお願いする4、…ように頼んでいる／頼むことにしている2、…ように注意した1	18	
	してほしいと言っている／と言った／と言うことにしている／と話している／とお願いしている／とお願いした／とお願いすることにしている／とお願いすることにした／と思っ ている／と考えている 14、してほしい9、…ようにしてほしい とお願いした1、…ようにしてほしい1	25	
	してもらいたいと考えている1、してもらいたい1、 してもらおうことにしている1、させることもある1	4	
	しなければならない7、することが必要だ／必要になって いる6、する必要がある4、することが大事だ／大切だと言 っている3、…ようにすることが必要だ1、…が必要だ1、… ようにすることが大切だ1、したほうがいと説明した1、 するのがいい1	25	
実現容認類	…ようにしている／する／した5、することにしている1	6	6
非実現要求類	…がないようにしよう 1	1	27
	しないようにしてください2、しないで2、 しないでください1、しないことを考えてください1	6	
	しないように言っている1、しないようにすることをお願い する1	2	
	しないようにしてほしいと言っています／と言いました3、 しないでほしいと言っています2	5	
	しないようにしている／する／した／したい4、 することを禁止している／禁止した2	6	
しないことが大切だ／大切だと言っている4、しないように しなければならない1、しないことを約束しなければならない 1、しないのがいい1	7		
非実現容認類	する必要がない1	1	1

表現タイプで言うと、普通の日本語の実現要求類が、やさしい日本語で非実現要求類に言い換えられたことが10例あった。多くの場合、普通の日本語とやさしい日本語では表現タイプが一致している。

表現形式で言うと、普通の日本語のニュース記事では、述語に「要請／働きかける／呼びかける／求める／要望」といった語彙が多く見られ、必ずしも表1のような典型的

な表現形式で行為要求を表しているわけではない。表1の形式は、むしろやさしい日本語のニュース記事のほうに多く出現した。やさしい日本語に使われた表2の形式は以下の特徴があると思われる。

- (5) a. 表1になく表2にある形式として、間接引用節を伴う形式が多かった。
- b. 表1にもあるが表2での使用が目立つ形式として、「てほしい」が多く使われた。
- c. 多義的な形式「ように」が多く使われた。
- d. 語彙的な意味で行為要求を表す形式が慣用的に使われた。

次の第4節で、用例を挙げながら詳しく見ていきたい。

## 4. 考察

### 4.1. 間接引用節の多用

普通の日本語ニュース記事の述語には、多様な表現が見られるが、やさしい日本語のニュース記事では、次の用例(6)(7)(8)のように、多くの場合、「…と言っている」「…ように言っている」のような間接引用の形式に書き換えられている<sup>3)</sup>。「と言う」のほかに「と話す／お願いする／頼む／注意する／考える／思う」など、「ように言う」のほかに「ようにお願いする／頼む／注意する」などの動詞を使う用例もある。

- (6) a. 東京都は、花粉症の人は眼鏡をかけたり、花粉がつきにくい服を着たりするように言っています。そして、花粉症がひどくならないように、お酒を飲みすぎたりたばこを吸ったりしないことが大切だと言っています。  
(2021年1月25日付)
- b. 都は、花粉症の人はメガネをかけたり花粉がつきにくい素材の服を選んだりしたうえで、症状を悪化させないよう酒の飲み過ぎや喫煙を控えるよう呼びかけています。
- (7) a. 警察は、緊急事態宣言が出たあと、新しいコロナウイルスに関係するその電話が増えそうなので気をつけてほしいと言っています。  
(2021年1月12日付)
- b. 新型コロナウイルスの感染拡大に便乗して現金をだまし取ろうとする不審な電話は、先月までに東京都内だけで153件確認されていて、警視庁は緊急事態宣言が出されたあと、こうした電話がさらに増えるおそれがあるとして注意を呼びかけています。
- (8) a. 気象庁は、強い風と雪、ひどい吹雪、高い波に気をつけるように言っています。  
(2021年1月29日付)
- b. 気象庁は、暴風雪、大雪、高波に警戒し、雪崩のほか、電線や樹木への着雪による停電に十分注意するよう呼びかけています。

用例(6)の普通の日本語(6b)は実現要求類で、述語が「…呼びかけています」一つにまとめられている。この文が長いので、やさしい日本語のほう(6a)では2文に分けられた。1

文目は実現要求類に、「着たりするように言っています」と書き直された。2文目は非実現要求類に、「吸ったりしないことが大切だと言っています」と書き直された。一文がそれぞれ「ように」と「と」引用節に言い換えられたのである。用例(7)(8)もわかりやすい例であろう。(7)と(8)は同じく「注意を呼びかける」という文脈で、やさしい日本語では前者が「気をつけてほしいと言っています」、後者が「気をつけるように言っています」となった。

間接引用で依頼・指示・忠告などの内容を示す場合に、「ように」も「と」も用いられる<sup>4)</sup>。ただ、「ように言う」は「ようにと言う」の省略形と見ることもできるので、「と」の使用範囲がもっと広いと言える。後続の動詞も「と」のほうがもっと汎用的である。「ように」の後ろに言語関係の動詞が来る場合、依頼・指示・忠告などは表せるが、「考える／思う」のような思考関係の動詞が来る場合、「思考内容」の意味に変わってしまう。

やさしい日本語で間接引用節を多用する理由は、報道の立場と関係していると考えられる。日常会話における話し手と聞き手の対立と違い、ニュース記事では客観的な第三者の視点で語ることが多い。つまり、この場合の行為要求は、第三人称と第三人称、第三人称と第二人称の間で行われることが多い<sup>5)</sup>。やさしい日本語でこれを表現するときに、引用節が用いられている。述語に言語関係・思考関係の動詞を使い、間接引用節に実行すべき行動を示すと、行動のほうに集中させるような効果があると思われる。これによって、表現の意図をより明確にすることができ、わかりやすい「やさしい日本語」の表現になるからであろう。

## 4.2. 「てほしい」の多用

次の用例(9)(10)と前掲の(7)のように、「てほしい」という形式の多用が注目される。

- (9) a. このため、電気を作る会社は、暖房以外に使う電気を少なくしてほしいとお願ひしています。例えば、生活に問題がないときは、部屋の明かりや掃除機などの機械をあまり使かわないでほしいと言っています。

(2021年1月12日付)

- b. このため各社は、家庭や企業に対して電気を効率的に使うなど節電への協力を呼びかけています。具体的には暖房などはこれまでどおり継続して利用してもらう一方、日常生活に支障のない範囲で照明やその他の電気機器の使用を控えるなど、電気を効率的に使ってほしいとしています。

- (10) a. このため厚生労働省は、看護を教えている280ぐらいの大学に「看護師の資格がある大学院生や先生を病院などに送ってほしい」と頼みました。

(2021年1月6日付)

- b. このため厚生労働省は、全国にある看護系の大学およそ280校に対し、看護師の免許を持つ大学院生や教員を医療現場に派遣するよう要望しています。

用例(9)の普通の日本語(9b)は実現要求類で、「協力を呼びかける」という文脈である

が、やさしい日本語(9a)では前後の意味に基づいて文の区切りが変えられた。前半は実現要求類に、「少なくしてほしいとお願いしています」と書き直された。後半は非実現要求類に、「使わないでほしいと言っています」と書き直された。(10)では「…派遣するよう要望しています」というところが、やさしい日本語で「…「…送ってほしい」と頼みました」となった。

普通の日本語の依頼なら、表1にまとめてあるように、命令文の「てくれ、てください、して」と、疑問文の「てくれないか、てもらえないか」と、平叙文の「てほしい、てもらいたい、願います」などが使えるはずである。しかし、今回のやさしい日本語の用例では、疑問文の形式が見当たらなかった。命令文のうち、丁寧度の低い形式「てくれ」も使用されていなかった。それは、ニュース記事という文体の制限を受けたためだと考えられる。一方、特に目立ったのは、平叙文の形式のうち、「てほしい」の使用が圧倒的に多かったということである。普通の日本語なら、「…ていただきたいです」、「…ていただければと思います」などがもっと選ばれやすいだろうが、やさしい日本語のほうは明らかに違う傾向を示している。

なぜ「てほしい」が多用されるのだろうか。「てほしい」は、他の人(自分以外)に対する願望や要求を表す文型である。「欲しい」という単語の意味が残っている分、願望が第一義的な機能と言えよう。依頼行為の実行より以前の「願望」の段階を述べているので、より本質的なニュアンスがあるように思われる。恩恵的な意味がある「てもらいたい・ていただきたい」と比べて、待遇上の配慮が薄く感じられ、より率直的な表現であると言える。また、人称や視点の制限がなく、第三人称を含めて幅広く使える。そういうところが、やさしい日本語ではわかりやすさにつながり、多く使われたのではないかとと思われる。

#### 4.3. 多義的な形式「ように」の多用

「ように」という形式も注目すべきである。今回の用例では、4.1.で考察した「ように言う／願います／頼む／注意する」のほかに、「ようにする」とその複合形式「ようにしている」「ようにしてほしい」「ようにしてください」「ようにしましょう」が多く見られた。

「ように」は様態、結果目的、発話内容、思考内容といった多義的な用法を持つ形式である(前田2003)。間接引用節に使われる「ように」は、「発話内容」の用法である。用例(11)と前掲の(6)(8)はそれにあたる。

- (11) a. 政府は緊急事態宣言が出た所に住む人に、できるだけ出かけないようにしてほしいと言いました。食べたり飲んだりする店には、午後8時までに店を閉めるようにお願いしました。家で仕事をする人を多くして、会社に行く人を70%少なくするようにお願いしました。(2021年1月13日付)
- b. 特に、午後8時以降の不要不急の外出の自粛を住民に徹底するとしているほか、飲食店に対して営業時間を午後8時までに短縮し、酒類の提供は午

前 11 時から午後 7 時までとするよう要請するとしています。…職場への出勤については、「出勤者数の 7 割削減」を目指すことも含め人と人の接触の機会を減らすよう、テレワークやローテーション勤務などを強力に推進するとしています。

用例(12)(14)(15)(16)は非実現要求類で、(13)は実現容認類の行為要求であるが、やさしい日本語では、いずれも「ようにする」とその複合形式が使われている。

(12) a. しかし、政府は 14 日から、仕事で来る人も日本に入れないようにしました。新しいコロナウイルスが広がり続けているためです。全部の外国人は、日本に入ることができなくなりました。(2021 年 1 月 14 日付)

b. 新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、政府は、11 の国と地域で実施しているビジネス関係者らの往来を 14 日から停止し、特段の事情がある場合などをのぞき、外国人の日本への入国を全面的に制限することになっています。

(13) a. 日本の政府は、新しいコロナウイルスの心配が少なくなった国との間で、行ったり来たりできるようにしています。(2020 年 10 月 9 日付)

b. 新型コロナウイルス対策の入国制限措置をめぐり、8 日から新たに韓国との間で、ビジネス関係者などの往来が再開しました。

(14) a. 牧場の人は、新しいコロナウイルスが広がらないように、緊急事態宣言が出ている所や札幌市からは来ないようにしてほしいと言っています。(2021 年 1 月 20 日付)

b. 「追い運動」は一般に公開されていますが、牧場ではほかの地域との不要不急の往来自粛が要請されている札幌市や緊急事態宣言が出ている都府県からの来場は控えてほしいとしています。

(15) a. そして、「昼でもウイルスがうつります。夜だけではなくて、昼も用事がない場合は外に出ないようにしてください」と言いました。(2021 年 1 月 12 日付)

b. そして「特に昼間の人出が減っていない。昼間でも感染リスクは変わらない。夜だけでなく、昼の外出も控えてほしい」と呼びかけました。

(16) a. 会議で環境省は「みんなが心配しています。役所が協力して、熊の被害がないようにしましょう」と言いました。(2020 年 10 月 28 日付)

b. 環境省は今後、クマが出没した際の対応マニュアルを見直すなどして被害を防ぐための自治体の取り組みを後押しすることになっています。

前田(2002)は、「X ようにする」を「結果状態構文」と呼んでおり、「時間的前後関係を言えば「する」が先に成立し、その後で X が成立する」という特徴があると指摘している。X と「する」の主体が同じである場合、「努力」の意味が表され、主体が異なる場合には「変化」か「調整」の意味が表される。前の状態とは明らかに異なるという場合には「変化」、そうでない場合には「調整」の意味が表されるが、両者は連続的である。そして、それらの「ようにする」の用法は「ように」の「結果目的」の用法に対応

すると説明している。

その説明によれば、用例(12)の「入れないようにしました」と(13)の「行ったり来たりできるようにしています」は「変化」の意味で、(14)の「来ないようにしてほしい」と(15)の「出ないようにしてください」と(16)の「(被害が)ないようにしましょう」は「努力」の意味であると考えられる。形式の組み合わせによって、それぞれの文脈で行為要求の意味を表せたのだと思われる。

「ように」は初級から出てくる文型である。やさしい日本語は基礎的な語彙と文法で意味を伝えようとしているからこそ、結果的に多義的な形式「ように」が多く使われたのであろう。

#### 4.4. 慣用的に使われる語彙的な形式

次の用例(17)(18)と前掲の(6)における「…が必要だ／大事だ／大切だ」といった形式は語彙的な意味を持って指示・忠告を表している。用例数が少なくなかったので、やさしい日本語ではかなり慣用的な行為要求表現と言える。

- (17) a. スマートフォンのGPSなどを使って、自分がいた場所のデータを残しておくことも必要です。保健所などからデータを見せるように言われたら、データを出さなければなりません。(2021年1月15日付)
- b. また、スマートフォンのGPS機能などで位置情報を保存し、保健所などの依頼があれば提示することも求めるということです。
- (18) a. 齋田さんは「ビタミンDは太陽の光を浴びると増えます。けがをしないようにするために、15分ぐらいでも外に出ることが大事です」と言っています。(2021年1月28日付)
- b. ビタミンDは、魚やきのこ、卵黄といった食事からも補うことはできるのですが、齋田特任教授は、10分から15分ほどの短い時間でも日光を直接浴びることが大事だとアドバイスしています。

(18b)のように、普通の日本語でも使われるが、その使用率から言えば、やさしい日本語のほうではもっと慣用的に使われているようである。

### 5. 日本語教育への示唆—「ように」を中心に

以上の考察で気づいたことをもとに、この節では、日本語教育の観点から文法形式「ように」について考えたい。

4.1. で第三人称と第三人称、第三人称と第二人称の間で行われる依頼・指示・忠告などの内容を示す場合、間接引用節「ように」がよく用いられることを述べた。しかし、日本語教育で行為要求表現を教えるときは、話し手と聞き手、つまり第一人称と第二人称の視点ばかり取り上げがちである。第三人称に関する文型の指導は十分にできていない。あるいは、間接引用を教えるときに、「ように」節を用いれば行為要求の機能が表せる、ということを言い損なったりする。日本語教育では、形式から機能へ、機能から形

式への双方向の文法シラバスの整理をさらに充実させていく必要があるように思われる。

補足に、対照の観点からも少し見てみたい。前述の第三人称と第三人称、第三人称と第二人称の間で行われる行為要求は、中国語に訳すと、だいたい使役構文に対応すると考えられる。中国語の使役構文の基本形は〈主語〉+〈使役動詞〉+〈目的語〉+〈動詞〉である。例えば、

A	让 / 叫	B	走
A さん	させる (使役動詞)	B さん	帰る

は「A さんは B さんに帰るように言った」の意味になる。中国語の使役動詞は、「(人)が～するように働きかける」という段階までしか意味しておらず、その結果「(人)が応じて～した」かどうかは分からない(楊凱榮 1989)。したがって、結果の実現が確定でない中国語の使役構文は、しばしば日本語の「ように」に対応し、結果実現の場合のみ、日本語の使役構文「A さんは B さんを帰らせた」に対応するのである。中国語母語話者に「ように」を教える時に、使役構文との接点についても触れておいたほうがいだろう。

結果の実現という点は、今回のやさしい日本語ニュースの用例にも関係していると考えられる。間接引用節「ように」が多く使われたのは、おそらく報道の時点で結果の実現が仮定的な事態だという理由も考えられる。また、4.3. で考察した「ようにする」の多用もそれと共通するところがある。前田(2002)は、「ようにする」を使う文と使わない文の違いをこう説明している。「ようにする」は、「実現への努力をする」というニュアンスがあるから、「成立の可能性がある事態となり、また、一回の動作ではなく、習慣的な意味、すなわち一定の期間に複数回、成立する事態である」という解釈も表される。

(19) これからも、毎日練習するようにしてくださいね。

(20) これからも、毎日練習してくださいね。(前田 2002 : 66)

日本語教育で「ように」という文法形式を指導する際、こんなニュアンスの差に注意する必要があるだろう。

## 6. おわりに

やさしい日本語を平時の情報提供に活用しようとする動きがある中で、本稿はやさしい日本語の使用実態を調べることを目指した。そこで、NHK のやさしい日本語ニュース「NEWS WEB EASY」を資料として利用した。これまで十分に研究されていない書き言葉での行為要求表現に注目して、やさしい日本語ではどのように使用するかを調べることにした。その結果、普通の日本語と比べて、やさしい日本語では特に、間接引用節、「てほしい」、多義的な形式「ように」、語彙的な形式「…が必要だ／大事だ／大切だ」などが多く使われていることがわかった。理由として、これらの形式の簡易度や明確さや多義性などが関与していると考えられる。また、ニュース報道がゆえに、第三人称の視点の多用や、結果の実現が仮定的であることなども影響していると考えられる。

しかし、今回はやさしい日本語ニュースを取り上げただけなので、やさしい日本語で書かれた行為要求表現の全体を見るにはまだ不十分である。今後はほかの種類

使い、さらに検証したい。

やさしい日本語の使用実態を把握することは、役所の公的文書の書き換えなどの活用シーンに役立つだけでなく、今後の外国人向けの「地域型日本語教育」「学校型日本語教育」、日本語母語話者向けの「地域社会の共通言語」としての国語教育にも大きな示唆を与えるだろう。今後も関心を持ち続けて研究を行っていきたい。

## 注

- 1) 用例を整理する際に、「」で括った直接引用文やタイトルに行為要求表現が現れた場合は、一般的な「。」で終わる文と同じように扱った。間接引用節に現れた場合は、文末表現と合わせた形式として扱った。  
直接引用文の用例 JR 東日本の人は「みんなの安全のために協力をお願いします」と話していました。(2020年10月27日付)  
タイトルの用例 台風が近くに来ている 雨や風に気をつけて(2020年10月9日付)
- 2) やさしい日本語の文末は基本的に「です・ます」の敬体であるが、今回は直接引用文やタイトルに現れた常体の形式もあったので、表2では一律に常体の形式で示す。
- 3) ここでは、代表例としてテイル形「言っている」を挙げているが、具体例は表2を参照したい。以下の節の考察でも、便宜上、代表例のみを挙げることにする。
- 4) 本稿は今回の用例の文脈から「忠告」がもっとも適切だと考え、この名称にしたが、高梨(2011)の分類における「勧め」のカテゴリーに入ると考える。
- 5) 今回の用例に、第一人称と第三人称、第一人称と第二人称の間で行われる行為要求もあるが、その多くが直接引用文やタイトルに見られた。

## 参考文献

- 庵功雄(2014)「『やさしい日本語』研究の現状と今後の課題」『一橋日本語教育研究』2, pp.1-12.
- グループ・ジャマシイ編(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版.
- 出入国在留管理庁・文化庁(2020)「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」  
<http://www.moj.go.jp/isa/content/930006072.pdf> (アクセス日:2021年2月1日).
- 高梨信乃(2011)「行為要求について——日本語教育における問題——」『神戸大学留学生センター紀要』17, pp.1-17.
- 高梨信乃(2018)「上級学習者と母語話者の行為要求表現の違い:「励ましの手紙」を例に」『現代日本語研究』10, pp.1-17.
- 田中英輝・熊野正・後藤功雄・美野秀弥(2018)「やさしい日本語ニュースの制作支援システム」『自然言語処理』25(1), pp.81-117.
- 田中寛(2002)「目的節「ために」、「ように」の意味分析——主体と意志のありかたをめぐる——」『別科論集』4, pp.31-66.
- 東京都オリンピック・パラリンピック準備局. 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会ポータルサイト「『やさしい日本語』について」  
<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/references/easyjpn.html> (アクセス日:2021年2月1日).

- 弘前大学社会言語学研究室（2013）「「やさしい日本語」作成のためのガイドライン」  
[https://www.fdma.go.jp/singi\\_kento/kento/items/kento207\\_20\\_sankou5-6.pdf](https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento207_20_sankou5-6.pdf)（アクセス日：  
2021年2月1日）。
- 前田直子（2002）「現代日本語における動詞変化構文「スルようにする」の意味・用法——変化  
と様態の関係をめぐって」『学習院大学文学部研究年報』（49），pp.61-76.
- 前田直子（2003）「現代日本語における「様態節」をめぐって——その体系性と連続性」『学習  
院大学文学部研究年報』（50），pp.115-134.
- 楊凱榮（1989）『日本語と中国語の使役表現に関する対照研究』くろしお出版。

（よう ぎん／華東理工大学外国語学院講師）